

## 大阪大会の概要

2016年7/16(土)・17(日)  
於・関西大学堺キャンパス

## 発表研究 歯医者嫌いを克服する笑いの力の可能性 落語のまち池田の歯科医の活動を検証する

堀登志子・小石 剛

虫歯の子どもをなくしたい。だから歯医者さんを怖がる子どもをなくしたい。との思いから始まった歯医者さんの待合室での落語会。

落語会をきっかけに、始まる「夏休み子ども落語教室」。大切な夏休みの5日間を通い続け、楽しそうに落語をお稽古する子ども達。最後には高



座で堂々と一席。そこまで彼らを引きつけるのはなぜなのか。それは「人を笑わせた喜び」に起因するののか。それとも純粹に「落語の力」なのか。を二年間の観察をもとに考察。

落語会で、変化したのは歯医者さん。「人を笑わせた自信」から、着物で講座ならぬ高座にあがるようになり、子ども達との距離も近くなる。

さらに、近所の商店は門戸を開き、色々な場で落語会が開かれるようになる。その広がりにはまさに「笑い」が育むま

ちの文化。

この動きが、人口減少時代に向けて、まちが存続する力となるのか。「自分のまちは自分で守る」意識が芽生える種となるのか。これからも歯医者さんの落語会の観察を通じて、笑いの力の可能性を探ります。

こいし歯科WEB >>